

## 令和3年度第1回福岡県森林環境税検討委員会の概要



- 1 日時 令和3年6月2日（水）13:30～15:00
- 2 場所 福岡県庁 特1会議室
- 3 次第
  - (1) 開会
  - (2) 農林水産部次長あいさつ
  - (3) 委員長あいさつ
  - (4) 議事 令和2年度福岡県森林環境税事業の実績評価について
  - (5) その他
  - (6) 閉会

#### 4 委員長のまとめ

- ・ 「森林の有する公益的機能の発揮に向けた施策」では、森林所有者に、強度間伐<sup>※</sup>の必要性やその効果についての理解を求めてきた結果、前年度に比べ5%増の1,554haの森林整備が実施されており、「荒廃の恐れのある森林」の整備については、目標の達成に向け、順調に推移している。
- ・ 「森林を守り育てる気運の向上に向けた施策」では、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、「森林づくり活動」の多くで、事業の中止や縮小を余儀なくされた結果、参加者数は9,400人と、前年度に比べると少なくなっている。これは、感染拡大を防止するという観点から致し方なかったと判断される。森林を守り育てる気運の向上に向け、本事業は効果的であることから、今後も感染対策を徹底させた上で、取組を推進してもらいたい。
- ・ 基金残高については、約7億6千万円と前年度から1億5千万円減少しており、森林整備が着実に進んでいることから、事業は概ね計画的に執行されている。
- ・ 当委員会としては、以上のことを総合的に勘案し、令和2年度の福岡県森林環境税事業については、条例の趣旨に沿って適切に実施されていると評価する。

※強度間伐：公益的機能を長期的に発揮させるため、間伐率を通常より高く設定した間伐。  
風害等を受ける恐れのある森林では、間伐を2回に分けて実施する場合がある。